

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	成長国高金利債券マザーファンドの受益証券
	成長国高金利債券マザーファンド	新興国通貨建ての債券
マザーファンドの運用方法	<p>①主として、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。</p> <p>②新興国通貨から原則として3通貨を選定し、投資対象通貨とします。</p> <p>イ. 投資対象候補とする新興国通貨をアジア地域、中南米地域、欧州・中東・アフリカ地域に分類し、地域ごとに1通貨を投資対象通貨として選定します。</p> <p>※投資対象候補はJ Pモルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマーシング・マーケット ブロードの構成国を参考に決定します。</p> <p>ロ. 長期的な視点で、金利水準が高く成長力のある国の通貨を選定します。選定にあたっては、債券および為替市場の流動性、信用力、市場規模等を勘案します。</p> <p>③通貨の配分比率は、各国の経済状況、財政状況、金融市場動向、社会情勢等を分析し、金利や為替の水準と方向性を考慮して決定します。</p> <p>④投資対象は、各国の政府および政府関係機関ならびに国際機関等が発行する投資対象通貨建ての債券とします。</p> <p>※先進国の政府および政府関係機関等が発行する投資対象通貨建ての債券に投資を行なう場合があります。</p> <p>⑤外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドに運用の指図にかかる権限の一部を委託します。</p> <p>⑥為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

成長国高金利債券ファンド (毎月決算型) (愛称：Mr. スリー)

運用報告書(全体版)

第95期	(決算日	2018年2月13日)
第96期	(決算日	2018年3月12日)
第97期	(決算日	2018年4月11日)
第98期	(決算日	2018年5月11日)
第99期	(決算日	2018年6月11日)
第100期	(決算日	2018年7月11日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「成長国高金利債券ファンド（毎月決算型）（愛称：Mr.スリー）」は、このたび、第100期の決算を行ないました。

ここに、第95期～第100期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<3117>

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			JPMorgan GBI-EMブロード ダイバーシファイド (円換算)		公社債 組比率	純資産 総額
	(分配落)	税金 込み	期中 騰落	(参考指数)	期中 騰落		
	円	円	%		%	%	百万円
71 期末 (2016年 2月12日)	5,241	60	1.9	12,321	△ 2.1	94.2	739
72 期末 (2016年 3月11日)	5,373	60	3.7	12,971	5.3	94.7	740
73 期末 (2016年 4月11日)	5,210	60	△ 1.9	12,792	△ 1.4	96.1	711
74 期末 (2016年 5月11日)	5,142	60	△ 0.2	12,937	1.1	93.6	693
75 期末 (2016年 6月13日)	4,917	60	△ 3.2	12,691	△ 1.9	93.8	649
76 期末 (2016年 7月11日)	4,771	60	△ 1.7	12,244	△ 3.5	89.3	624
77 期末 (2016年 8月12日)	4,986	40	5.3	12,865	5.1	95.3	632
78 期末 (2016年 9月12日)	4,841	40	△ 2.1	12,735	△ 1.0	95.8	595
79 期末 (2016年10月11日)	4,883	40	1.7	13,027	2.3	95.0	597
80 期末 (2016年11月11日)	4,647	40	△ 4.0	12,754	△ 2.1	93.9	559
81 期末 (2016年12月12日)	4,970	40	7.8	13,654	7.1	94.3	575
82 期末 (2017年 1月11日)	4,827	40	△ 2.1	13,772	0.9	96.2	543
83 期末 (2017年 2月13日)	4,931	40	3.0	13,920	1.1	96.6	539
84 期末 (2017年 3月13日)	5,030	40	2.8	14,040	0.9	96.7	542
85 期末 (2017年 4月11日)	4,887	40	△ 2.0	13,876	△ 1.2	95.9	522
86 期末 (2017年 5月11日)	5,022	40	3.6	14,469	4.3	95.2	532
87 期末 (2017年 6月12日)	5,041	40	1.2	14,358	△ 0.8	95.8	520
88 期末 (2017年 7月11日)	5,101	40	2.0	14,761	2.8	96.3	522
89 期末 (2017年 8月14日)	4,944	40	△ 2.3	14,499	△ 1.8	96.0	503
90 期末 (2017年 9月11日)	5,025	40	2.4	14,867	2.5	96.6	549
91 期末 (2017年10月11日)	4,899	40	△ 1.7	14,965	0.7	91.7	597
92 期末 (2017年11月13日)	4,773	40	△ 1.8	14,858	△ 0.7	94.9	592
93 期末 (2017年12月11日)	4,851	40	2.5	15,056	1.3	95.5	568
94 期末 (2018年 1月11日)	4,940	40	2.7	15,232	1.2	94.8	517
95 期末 (2018年 2月13日)	4,897	40	△ 0.1	15,031	△ 1.3	95.1	472
96 期末 (2018年 3月12日)	4,821	25	△ 1.0	14,925	△ 0.7	95.4	454
97 期末 (2018年 4月11日)	4,891	25	2.0	14,951	0.2	95.8	459
98 期末 (2018年 5月11日)	4,699	25	△ 3.4	14,693	△ 1.7	95.4	437
99 期末 (2018年 6月11日)	4,462	25	△ 4.5	14,205	△ 3.3	95.2	412
100 期末 (2018年 7月11日)	4,569	25	3.0	14,323	0.8	95.1	417

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) JPMorgan GBI-EMブロード ダイバーシファイド (円換算) は、JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマーシング・マーケット ブロード ダイバーシファイド (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマーシング・マーケット ブロード ダイバーシファイド (米ドルベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morgan はその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morgan からの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

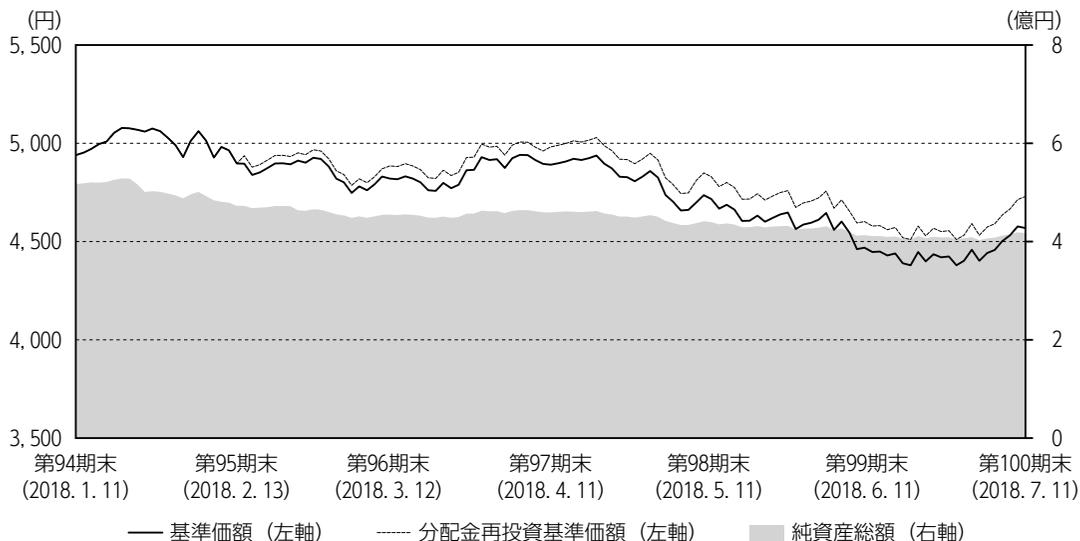
(注4) 公社債組比率は、マザーファンドの組比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組比率は新株予約権付債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

基準価額・騰落率

第95期首：4,940円

第100期末：4,569円（既払分配金165円）

騰落率：△4.2%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

投資している債券の利息収入は基準価額のプラス要因となりましたが、債券価格の下落や投資対象通貨が円に対して下落したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

成長国高金利債券ファンド（毎月決算型）

	年 月 日	基 準 価 額		JPMorgan GBI-EMブロード ダイバーシファイド（円換算）		公 社 債 組 入 比 率
		円	騰 落 率 %	（参考指数）	騰 落 率 %	
第95期	(期首) 2018年1月11日	4,940	—	15,232	—	94.8
	1月末	4,930	△ 0.2	15,195	△ 0.2	95.6
	(期末) 2018年2月13日	4,937	△ 0.1	15,031	△ 1.3	95.1
第96期	(期首) 2018年2月13日	4,897	—	15,031	—	95.1
	2月末	4,882	△ 0.3	14,982	△ 0.3	95.1
	(期末) 2018年3月12日	4,846	△ 1.0	14,925	△ 0.7	95.4
第97期	(期首) 2018年3月12日	4,821	—	14,925	—	95.4
	3月末	4,915	1.9	14,958	0.2	95.6
	(期末) 2018年4月11日	4,916	2.0	14,951	0.2	95.8
第98期	(期首) 2018年4月11日	4,891	—	14,951	—	95.8
	4月末	4,831	△ 1.2	14,960	0.1	96.1
	(期末) 2018年5月11日	4,724	△ 3.4	14,693	△ 1.7	95.4
第99期	(期首) 2018年5月11日	4,699	—	14,693	—	95.4
	5月末	4,587	△ 2.4	14,259	△ 3.0	94.8
	(期末) 2018年6月11日	4,487	△ 4.5	14,205	△ 3.3	95.2
第100期	(期首) 2018年6月11日	4,462	—	14,205	—	95.2
	6月末	4,402	△ 1.3	14,024	△ 1.3	94.9
	(期末) 2018年7月11日	4,594	3.0	14,323	0.8	95.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2018. 1. 12 ~ 2018. 7. 11)

債券市況

債券市場では、米国の利上げ観測や米国の保護貿易主義への懸念の高まりを受けて世界的なリスク回避の動きにつながったこと、また各国の個別要因が、相場を動かす材料となりました。インドネシアでは、インドネシア・ルピアの下落を受けて、自国通貨防衛のために政策金利が引き上げられたことなどから金利は上昇しました。メキシコでは、NAFTA（北米自由貿易協定）再交渉や大統領選挙および議会選挙をめぐる思惑に左右され、金利は小幅に上昇しました。南アフリカでは、与党ANC（アフリカ民族会議）の党首選挙で改革派のラマポーザ氏が勝利し、構造改革期待から大きく金利が低下する局面もありましたが、新興国からの資金流出への懸念などを背景に、当作成期間を通してみるとほぼ横ばいでの推移となりました。

為替相場

投資対象通貨の対円為替相場は、新興国からの資金流出への懸念の影響を受けつつも、各国の個別要因が相場を左右する主な材料となりました。インドネシア・ルピアは、市場のリスク回避的な姿勢の高まりを背景に対円で下落しました。メキシコ・ペソは、NAFTA再交渉に対する懸念などを背景に下落する局面もありましたが、新政権への期待などを背景に、当期間を通してみると対円で上昇しました。南アフリカ・ランドは、構造改革期待に支えられる局面もありましたが、新興国からの資金流出への懸念などを背景に対円で下落しました。

前作成期間末における「今後の運用方針」**当ファンド**

当ファンドの商品性格に鑑み、「成長国高金利債券マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

成長国高金利債券マザーファンド

新興国通貨から、長期的な視点で、金利水準が高く成長力のある国の通貨を選定し、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

ポートフォリオについて

(2018. 1. 12 ~ 2018. 7. 11)

■当ファンド

当作成期間を通じて「成長国高金利債券マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

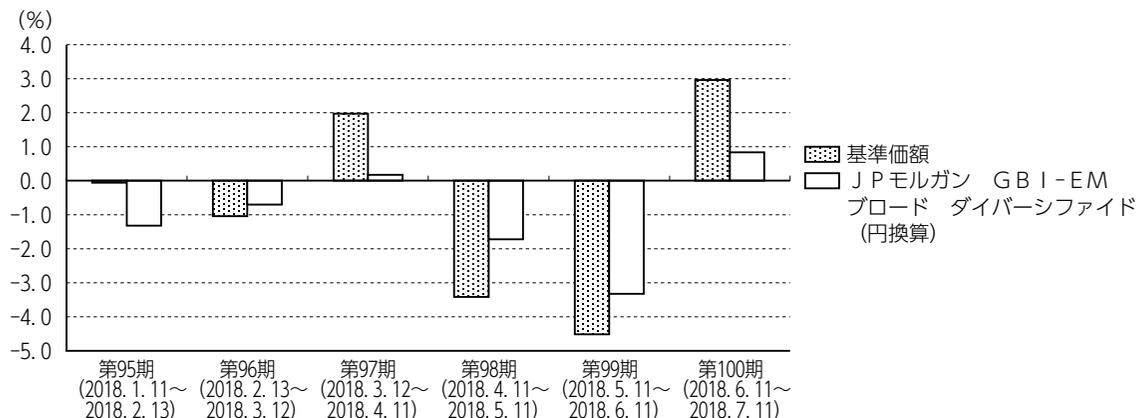
■成長国高金利債券マザーファンド

- ・ 基本的な商品性格に基づき、アジア地域ではインドネシア・ルピア、中南米地域ではメキシコ・ペソ、欧州・中東・アフリカ地域では南アフリカ・ランドへ投資しました。通貨別の配分は、各国の経済状況、財政状況、金融市場動向、社会情勢等を分析し、金利や為替の水準と方向性を考慮して配分しました。
- ・ 債券ポートフォリオの金利リスクについては、修正デュレーションで6.7（年）～7.3（年）程度としました。また、組入債券の種別構成については、現地通貨建国債を中心としたポートフォリオ構成としました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

1万口当り分配金（税込み）は第95期は40円、第96期から第100期はそれぞれ25円といたしました。収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第95期	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期
	2018年1月12日 ～2018年2月13日	2018年2月14日 ～2018年3月12日	2018年3月13日 ～2018年4月11日	2018年4月12日 ～2018年5月11日	2018年5月12日 ～2018年6月11日	2018年6月12日 ～2018年7月11日
当期分配金（税込み）（円）	40	25	25	25	25	25
対基準価額比率（％）	0.81	0.52	0.51	0.53	0.56	0.54
当期の収益（円）	26	21	25	23	23	25
当期の収益以外（円）	13	3	—	1	1	—
翌期繰越分配対象額（円）	164	161	163	161	160	162

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第95期	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期
(a) 経費控除後の配当等収益	26.78円	21.25円	27.47円	23.18円	23.22円	27.23円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	178.11	164.96	161.24	161.25	161.28	160.18
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	2.47	0.65	0.00
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	204.90	186.22	188.71	186.91	185.16	187.41
(f) 分配金	40.00	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	164.90	161.22	163.71	161.91	160.16	162.41

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、引き続き、「成長国高金利債券マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

■成長国高金利債券マザーファンド

引き続き、新興国通貨から、長期的な視点で、金利水準が高く成長力のある国の通貨を選定し、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第95期～第100期 (2018. 1. 12～2018. 7. 11)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	34円	0. 719%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は4, 768円です。
（投信会社）	(15)	(0. 322)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(18)	(0. 376)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(1)	(0. 021)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	7	0. 151	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(4)	(0. 089)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(3)	(0. 058)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	41	0. 870	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

成長国高金利債券ファンド（毎月決算型）

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2018年1月12日から2018年7月11日まで)

決算期	第95期～第100期			
	設定		解約	
	□数	金額	□数	金額
成長国高金利債券 マザーファンド	千口 1,418	千円 1,656	千口 72,310	千円 85,800

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期間（第95期～第100期）中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種類	第94期末	第100期末	
	□数	□数	評価額
成長国高金利債券 マザーファンド	千口 433,357	千口 362,465	千円 415,349

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年7月11日現在

項目	第100期末	
	評価額	比率
成長国高金利債券マザーファンド	千円 415,349	% 98.6
コール・ローン等、その他	5,770	1.4
投資信託財産総額	421,120	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、7月11日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=110.93円、1メキシコ・ペソ=5.83円、100インドネシア・ルピア=0.78円、1南アフリカ・ランド=8.31円です。

(注3) 成長国高金利債券マザーファンドにおいて、第100期末における外貨建純資産（408,559千円）の投資信託財産総額（416,437千円）に対する比率は、98.1%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2018年2月13日)、(2018年3月12日)、(2018年4月11日)、(2018年5月11日)、(2018年6月11日)、(2018年7月11日) 現在

項目	第95期末	第96期末	第97期末	第98期末	第99期末	第100期末
(A) 資産	477,279,512円	458,468,119円	462,350,298円	440,397,483円	416,727,081円	421,120,105円
コール・ローン等	7,065,394	4,974,905	5,072,906	4,991,267	4,869,805	4,700,648
成長国高金利債券 マザーファンド（評価額）	470,214,118	452,763,078	457,277,392	435,406,216	409,997,304	415,349,159
未収入金	—	730,136	—	—	1,859,972	1,070,298
(B) 負債	4,523,972	3,565,959	2,900,659	2,879,200	4,674,777	3,820,325
未払収益分配金	3,861,796	2,359,193	2,348,320	2,327,956	2,308,834	2,283,132
未払解約金	—	706,411	—	—	1,821,194	1,031,986
未払信託報酬	658,505	493,935	542,858	538,674	529,115	486,850
その他未払費用	3,671	6,420	9,481	12,570	15,634	18,357
(C) 純資産総額（A－B）	472,755,540	454,902,160	459,449,639	437,518,283	412,052,304	417,299,780
元本	965,449,095	943,677,373	939,328,090	931,182,402	923,533,885	913,253,065
次期繰越損益金	△ 492,693,555	△ 488,775,213	△ 479,878,451	△ 493,664,119	△ 511,481,581	△ 495,953,285
(D) 受益権総口数	965,449,095□	943,677,373□	939,328,090□	931,182,402□	923,533,885□	913,253,065□
1万口当り基準価額（C/D）	4,897円	4,821円	4,891円	4,699円	4,462円	4,569円

* 第94期末における元本額は1,046,909,099円、当作成期間（第95期～第100期）中における追加設定元本額は10,254,245円、同解約元本額は143,910,279円です。

* 第100期末の計算口数当りの純資産額は4,569円です。

* 第100期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は495,953,285円です。

■損益の状況

第95期 自2018年1月12日 至2018年2月13日 第97期 自2018年3月13日 至2018年4月11日 第99期 自2018年5月12日 至2018年6月11日
 第96期 自2018年2月14日 至2018年3月12日 第98期 自2018年4月12日 至2018年5月11日 第100期 自2018年6月12日 至2018年7月11日

項 目	第95期	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期
(A) 配当等収益	△ 121円	△ 113円	△ 122円	△ 69円	△ 38円	△ 30円
受取利息	6	1	2	—	1	—
支払利息	△ 127	△ 114	△ 124	△ 69	△ 39	△ 30
(B) 有価証券売買損益	325,394	△ 4,315,994	9,538,252	△ 15,077,378	△ 19,030,944	12,607,240
売買益	1,115,312	52,015	9,553,966	53,154	72,114	12,671,577
売買損	△ 789,918	△ 4,368,009	△ 15,714	△ 15,130,532	△ 19,103,058	△ 64,337
(C) 信託報酬等	△ 662,176	△ 496,684	△ 545,919	△ 541,790	△ 532,245	△ 489,739
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 336,903	△ 4,812,791	8,992,211	△ 15,619,237	△ 19,563,227	12,117,471
(E) 前期繰越損益金	△ 287,195,858	△ 282,172,281	△ 287,373,286	△ 278,019,079	△ 293,227,017	△ 311,132,204
(F) 追加信託差損益金	△ 201,298,998	△ 199,430,948	△ 199,149,056	△ 197,697,847	△ 196,382,503	△ 194,655,420
(配当等相当額)	(17,196,231)	(15,567,445)	(15,145,866)	(15,016,191)	(14,894,755)	(14,628,489)
(売買損益相当額)	(△ 218,495,229)	(△ 214,998,393)	(△ 214,294,922)	(△ 212,714,038)	(△ 211,277,258)	(△ 209,283,909)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 488,831,759	△ 486,416,020	△ 477,530,131	△ 491,336,163	△ 509,172,747	△ 493,670,153
(H) 収益分配金	△ 3,861,796	△ 2,359,193	△ 2,348,320	△ 2,327,956	△ 2,308,834	△ 2,283,132
次期繰越損益金 (G + H)	△ 492,693,555	△ 488,775,213	△ 479,878,451	△ 493,664,119	△ 511,481,581	△ 495,953,285
追加信託差損益金	△ 202,574,781	△ 199,784,050	△ 199,149,056	△ 197,697,847	△ 196,485,906	△ 194,655,420
(配当等相当額)	(15,920,448)	(15,214,343)	(15,145,866)	(15,016,191)	(14,791,352)	(14,628,489)
(売買損益相当額)	(△ 218,495,229)	(△ 214,998,393)	(△ 214,294,922)	(△ 212,714,038)	(△ 211,277,258)	(△ 209,283,909)
分配準備積立金	—	—	232,278	60,942	—	204,075
繰越損益金	△ 290,118,774	△ 288,991,163	△ 280,961,673	△ 296,027,214	△ 314,995,675	△ 301,501,940

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程 (総額)」の表をご参照ください。

(注4) 投資信託財産 (親投資信託) の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用: 267,591円 (未監査)

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第95期	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期
(a) 経費控除後の配当等収益	2,586,013円	2,006,091円	2,580,598円	2,158,862円	2,145,053円	2,487,207円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	17,196,231	15,567,445	15,145,866	15,016,191	14,894,755	14,628,489
(d) 分配準備積立金	0	0	0	230,036	60,378	0
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	19,782,244	17,573,536	17,726,464	17,405,089	17,100,186	17,115,696
(f) 分配金	3,861,796	2,359,193	2,348,320	2,327,956	2,308,834	2,283,132
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	15,920,448	15,214,343	15,378,144	15,077,133	14,791,352	14,832,564
(h) 受益権総口数	965,449,095口	943,677,373口	939,328,090口	931,182,402口	923,533,885口	913,253,065口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万 口 当 り 分 配 金	第95期	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期
	40円	25円	25円	25円	25円	25円
(単 価)	(4, 897円)	(4, 821円)	(4, 891円)	(4, 699円)	(4, 462円)	(4, 569円)

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

成長国高金利債券マザーファンド

運用報告書 第17期 (決算日 2018年7月11日)

(計算期間 2018年1月12日～2018年7月11日)

成長国高金利債券マザーファンドの第17期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	新興国通貨建ての債券
運用方法	<p>①主として、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。</p> <p>②新興国通貨から原則として3通貨を選定し、投資対象通貨とします。</p> <p>イ. 投資対象候補とする新興国通貨をアジア地域、中南米地域、欧州・中東・アフリカ地域に分類し、地域ごとに1通貨を投資対象通貨として選定します。</p> <p>※投資対象候補はJ P モルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケットズ ブロードの構成国を参考に決定します。</p> <p>ロ. 長期的な視点で、金利水準が高く成長力のある国の通貨を選定します。選定にあたっては、債券および為替市場の流動性、信用力、市場規模等を勘案します。</p> <p>③通貨の配分比率は、各国の経済状況、財政状況、金融市場動向、社会情勢等を分析し、金利や為替の水準と方向性を考慮して決定します。</p> <p>④投資対象は、各国の政府および政府関係機関ならびに国際機関等が発行する投資対象通貨建ての債券とします。</p> <p>※先進国の政府および政府関係機関等が発行する投資対象通貨建ての債券に投資を行なう場合があります。</p> <p>⑤外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント (ヨーロッパ) リミテッドに運用の指図にかかる権限の一部を委託します。</p> <p>⑥為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>
株式組入制限	純資産総額の10%以下

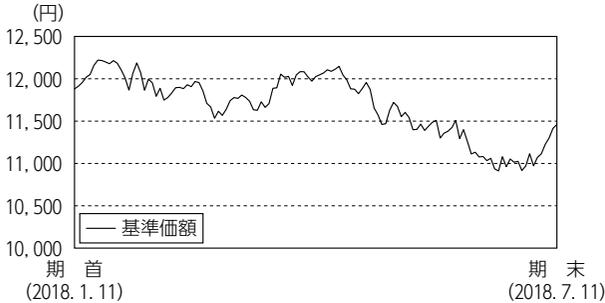
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基準 価 額		JPMorgan GBI-EMブロード ダイバーシファイド (円換算)		公社債 組 入 比 率
	円	騰落率 %	(参考指数)	騰落率 %	
(期首) 2018年 1月11日	11,881	—	15,232	—	95.2
1 月末	11,866	△ 0.1	15,195	△ 0.2	96.1
2 月末	11,858	△ 0.2	14,982	△ 1.6	95.5
3 月末	12,017	1.1	14,958	△ 1.8	96.0
4 月末	11,886	0.0	14,960	△ 1.8	96.5
5 月末	11,357	△ 4.4	14,259	△ 6.4	95.3
6 月末	10,970	△ 7.7	14,024	△ 7.9	95.3
(期末) 2018年 7月11日	11,459	△ 3.6	14,323	△ 6.0	95.5

- (注1) 騰落率は期首比。
 (注2) JPMorgan GBI-EMブロード ダイバーシファイド (円換算) は、JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット ブロード ダイバーシファイド (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット ブロード ダイバーシファイド (米ドルベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morgan はその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morgan からの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.
 (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
 (注4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】
 期首：11,881円 期末：11,459円 騰落率：△3.6%

【基準価額の主な変動要因】

投資している債券の利息収入は基準価額のプラス要因となりましたが、債券価格の下落や投資対象通貨が円に対して下落したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○債券市況

債券市場では、米国の利上げ観測や米国の保護貿易主義への懸念の高まりを受けて世界的なリスク回避の動きにつながったこと、また各国の個別要因が、相場を動かす材料となりました。インドネシアでは、インドネシア・ルピアの下落を受けて、自国通貨防衛のために政策金利が引き上げられたことなどから金利は上昇しました。メキシコでは、NAFTA (北米自由貿易協定) 再交渉や大統領選挙および議会選挙をめぐる思惑に左右され、金利は小幅に上昇しました。南アフリカでは、与党ANC (アフリカ民族会議) の党首選挙で改革派のラマポーザ氏が勝利し、構造改革期待から大きく金利が低下する局面もありましたが、新興国からの資金流出への懸念などを背景に、期を通してみるとほぼ横ばいでの推移となりました。

○為替相場

投資対象通貨の対円為替相場は、新興国からの資金流出への懸念の影響を受けつつも、各国の個別要因が相場を左右する主な材料となりました。インドネシア・ルピアは、市場のリスク回避的な姿勢の高まりを背景に対円で下落しました。メキシコ・ペソは、NAFTA再交渉に対する懸念などを背景に下落する局面もありましたが、新政権への期待などを背景に、期を通してみると対円で上昇しました。南アフリカ・ランドは、構造改革期待に支えられる局面もありましたが、新興国からの資金流出への懸念などを背景に対円で下落しました。

◆前期における「今後の運用方針」

新興国通貨から、長期的な視点で、金利水準が高く成長力のある国の通貨を選定し、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

◆ポートフォリオについて

- ・基本的な商品性格に基づき、アジア地域ではインドネシア・ルピア、中南米地域ではメキシコ・ペソ、欧州・中東・アフリカ地域では南アフリカ・ランドへ投資しました。通貨別の配分は、各国の経済状況、財政状況、金融市場動向、社会情勢等を分析し、金利や為替の水準と方向性を考慮して配分しました。
- ・債券ポートフォリオの金利リスクについては、修正デュレーションで6.7 (年) ~7.3 (年) 程度としました。また、組入債券の種別構成については、現地通貨建国債を中心としたポートフォリオ構成としました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
 当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

引き続き、新興国通貨から、長期的な視点で、金利水準が高く成長力のある国の通貨を選定し、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	17 (11)
(その他)	(7)
合 計	17

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

公 社 債

(2018年1月12日から2018年7月11日まで)

		買 付 額	売 付 額
外	メキシコ	千メキシコ・ペソ —	千メキシコ・ペソ 5,860 (—)
	インドネシア	国債証券	千インドネシア・ルピア —
		特殊債券	1,667,840
国	南アフリカ	千南アフリカ・ランド 2,715	千南アフリカ・ランド 3,525 (—)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

公 社 債

(2018年1月12日から2018年7月11日まで)

当 期		期	
買 付	金 額	売 付	金 額
銘 柄		銘 柄	
	千円		千円
REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 9% 2040/1/31	15,048	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 8.75% 2048/2/28	25,530
REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 7.25% 2020/1/15	9,065	Mexican Bonos (メキシコ) 8.5% 2018/12/13	14,629
EUROPEAN INVESTMENT BANK (国際機関) 5.75% 2025/1/24	7,575	Mexican Bonos (メキシコ) 10% 2024/12/5	12,365
EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT (国際機関) 7.375% 2019/4/15	5,433	Indonesia Treasury Bond (インドネシア) 6.625% 2033/5/15	9,435
		EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT (国際機関) 9.25% 2020/12/2	8,092
		Indonesia Treasury Bond (インドネシア) 11% 2025/9/15	8,024
		Mexican Bonos (メキシコ) 7.75% 2042/11/13	6,942
		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 7.25% 2020/1/15	6,421
		Indonesia Treasury Bond (インドネシア) 10.5% 2030/8/15	6,415
		Indonesia Treasury Bond (インドネシア) 8.25% 2036/5/15	2,417

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

成長国高金利債券マザーファンド

■組入資産明細表

(1) 外国（外貨建）公社債（通貨別）

区 分	額 面 金 額	当 期		組入比率	うちB B格 以下組入 比 率	残存期間別組入比率		
		評 価 額				5年以上	2年以上	2年未満
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額					
メキシコ	千メキシコ・ペソ 24,010	千メキシコ・ペソ 23,832	千円 138,945	33.5%	—%	% 21.0	% 6.5	% 6.0
インドネシア	千インドネシア・ルピア 17,000,000	千インドネシア・ルピア 17,207,046	134,214	32.3	—	21.3	7.8	3.2
南アフリカ	千南アフリカ・ランド 17,100	千南アフリカ・ランド 14,867	123,545	29.7	—	27.7	—	2.0
合 計	—	—	396,705	95.5	—	70.0	14.3	11.2

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 外国（外貨建）公社債（銘柄別）

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	当 期		未		償 還 年 月 日
				額 面 金 額	評 価 額	外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
メキシコ	Mexican Bonos	国債証券	10.0000	2,000	千メキシコ・ペソ 2,237	千円 13,042	2024/12/05	
	Mexican Bonos	国債証券	7.5000	2,710	2,677	15,607	2027/06/03	
	Mexican Bonos	国債証券	8.5000	3,300	3,308	19,287	2018/12/13	
	Mexican Bonos	国債証券	6.5000	1,000	969	5,654	2021/06/10	
	Mexican Bonos	国債証券	7.7500	9,300	9,147	53,329	2042/11/13	
	Mexican Bonos	国債証券	7.7500	900	891	5,199	2034/11/23	
	Petroleos Mexicanos	特殊債券	7.6500	3,800	3,629	21,157	2021/11/24	
	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	5.2500	1,000	972	5,666	2019/10/17	
	通貨小計	銘柄数 金 額	8銘柄		24,010	23,832	138,945	
インドネシア	Indonesia Treasury Bond	国債証券	8.2500	千インドネシア・ルピア 2,700,000	千インドネシア・ルピア 2,759,994	21,527	2036/05/15	
	Indonesia Treasury Bond	国債証券	11.0000	500,000	589,105	4,595	2025/09/15	
	Indonesia Treasury Bond	国債証券	6.6250	400,000	360,732	2,813	2033/05/15	
	Indonesia Treasury Bond	国債証券	8.3750	6,500,000	6,722,755	52,437	2034/03/15	
	EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	7.2000	1,000,000	994,800	7,759	2019/07/09	
	EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	5.7500	1,000,000	912,850	7,120	2025/01/24	
	EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT	特殊債券	9.2500	2,000,000	2,068,600	16,135	2020/12/02	
	EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT	特殊債券	7.3750	700,000	695,604	5,425	2019/04/15	
	EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT	特殊債券	6.2500	2,200,000	2,102,606	16,400	2022/07/25	
通貨小計	銘柄数 金 額	9銘柄		17,000,000	17,207,046	134,214		
南アフリカ	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	7.2500	千南アフリカ・ランド 1,000	千南アフリカ・ランド 998	8,300	2020/01/15	
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	10.5000	2,000	2,212	18,386	2026/12/21	
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	6.2500	6,300	4,631	38,486	2036/03/31	
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	7.0000	2,800	2,359	19,611	2031/02/28	
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	8.7500	2,300	2,117	17,593	2048/02/28	
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	8.7500	1,000	924	7,685	2044/01/31	
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	9.0000	1,700	1,622	13,480	2040/01/31	
	通貨小計	銘柄数 金 額	7銘柄		17,100	14,867	123,545	
合 計	銘柄数 金 額	24銘柄				396,705		

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年7月11日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 396,705	% 95.3
コール・ローン等、その他	19,732	4.7
投資信託財産総額	416,437	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、7月11日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=110.93円、1メキシコ・ペソ=5.83円、100インドネシア・ルピア=0.78円、1南アフリカ・ランド=8.31円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(408,559千円)の投資信託財産総額(416,437千円)に対する比率は、98.1%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年7月11日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	421,135,363円
コール・ローン等	11,572,894
公社債(評価額)	396,705,288
未収入金	4,725,300
未取利息	7,519,628
前払費用	612,253
(B) 負債	5,779,215
未払金	4,697,703
未払解約金	1,070,298
その他未払費用	11,214
(C) 純資産総額(A-B)	415,356,148
元本	362,465,450
次期繰越損益金	52,890,698
(D) 受益権総口数	362,465,450口
1万口当り基準価額(C/D)	11,459円

*期首における元本額は433,357,804円、当期中における追加設定元本額は1,418,370円、同解約元本額は72,310,724円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、成長国高金利債券ファンド(毎月決算型)362,465,450円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は11,459円です。

■損益の状況

当期 自2018年1月12日 至2018年7月11日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	16,321,310円
受取利息	16,322,273
支払利息	△ 963
(B) 有価証券売買損益	△ 31,014,814
売買益	4,613,497
売買損	△ 35,628,311
(C) その他費用	△ 661,854
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 15,355,358
(E) 前期繰越損益金	81,497,026
(F) 解約差損益金	△ 13,489,362
(G) 追加信託差損益金	238,392
(H) 合計(D+E+F+G)	52,890,698
次期繰越損益金(H)	52,890,698

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。